

今井4丁目物流拠点開発と周辺地域の浸水対策等について

都内にこんなに広いまとまった農地はもうないでしょう。約 40 ヘクタールの農地を物流拠点として開発する計画に、市は踏み切ろうとしています。

この農地からの固定資産税は全体で 1 年に 100 万円ほどだったと聞きます。200 軒ほどの農家が地主なので平均すると 5,000 円。

農業を守るためにこんなに税を少なく抑えてきたのです。食糧の確保はこれからの日本にとって最大の課題。農地は新たに農業で働きたい人たちに手渡していくべきではないでしょうか。しかし我が国の政治はまだ開発優先の考えから脱皮できないのですね。コンクリートで埋め尽くせば大雨の際、周辺への浸水も非常に心配です。

スーパーは来ないのですか

青梅駅前の古いビルを建て替える計画。14 階建て(1 階は商店・2 階は市の図書館+子育て支援施設・上はマンション)の計画が決定するまでに何回も見直しを繰り返しました。その結果、補助金が出る期間をオーバーしてしまい、国や都の補助金が一部出ないことに。

そのため 市は建築費の 1/6 に加え、法的に根拠がない約 3 億 7 千万円を追加負担することになりました。びっくりです。

しかも再開発組合は「店舗面積が狭いためスーパーの誘致は難しい」というのです。多額の市民の税金を投入してきたのは何のためでしょうか。市はこれまでのような受け身の対応ではいけないと思います。

(9 月議会で一般質問)



東京都都市整備局資料より

ひだ紀子

政党に属していません。一人会派です。

青梅市議会議員・議会報告



市議会議員と市長のボーナス

市議会議員や市長のボーナスを上げる、という議案が出てくると私は必ず反対します。

財政難をよく知っているからです。企業に例えれば市議も市長も経営者の立場。市民の経済状態が確実に上向いたあとに考えるべきです。

昨年 12 月議会で市議のボーナスを約 6 万円、市長は 12 万円上げるという議案に反対しました。が自民・公明・市民フォーラムが賛成し、議案は通ってしまいました。

青梅市長と市議のボーナスは三多摩 26 市の中で上から 3 番目の水準です。市議のボーナスを上げない市は 12 もあります。

隣の羽村市ではそもそも議案として出てこなかったそうです。財政難はどの市でも深刻な問題なのです。

令和4年11月18日		令和4年12月15日			
令和4年11月分 議員報酬支給明細書 ひだ 紀子 殿		令和4年12月期 議員期末手当支給明細書 ひだ 紀子 殿			
	議員報酬	530,000			
控除	源泉所得税	34,550	控除	源泉所得税	260,067
	住民税	50,800			
その他	私用電話料等	0	その他		
	複写機等利用料	0			
控除額計		85,350	控除額計		260,067
差引支給額		444,650	差引支給額		1,155,033

(青梅市議会事務局)

(青梅市議会事務局)

(青梅市議会事務局)

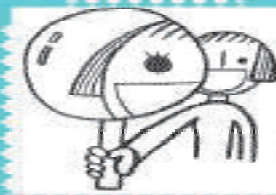
(青梅市議会事務局)

子育て中の議員から「ひださん、反対するときは僕たちのことも考えて下さいよ」「議員年金もない」といった声を聴きます。青梅市議の月々の報酬とボーナスを明細書で公開します。皆さんはどう判断しますか？

続きは、次ページ



ひだ紀子 は こんなふうにチェックした



こんな議員報酬あり？

議会以外の役職につくことで、市議にプラスアルファの収入

市議会の推薦で 11 市競輪組合議会の議員になると年間 3 ～ 4 回の会議出席で 55 万円の報酬が出ます。公明と自民がこのポストにつくこと多し。

私は「青梅市都市計画審議会」などの議会外ポストについていますが、16 年間ずっと報酬を辞退しています。市議としての報酬はもう頂いてあり、二重取りになると考えるからです。

青梅市立総合病院について

患者の視点をわすれないで

青梅市立総合病院は、新型コロナ対応で大きな役割を果たしてきました。しかし患者さんから様々な不満もうかがいます。ある患者さんは、初診の医師・がんの診断を下した医師・手術をした医師が 3 人、違う人であったという。手術直前、すでに手術室へ向かったベッドの上にいるとき、初めて「私が手術を担当します」と言われ、びっくりしたそうです。術後の医師の説明も不誠実なものでした。「人を治すのはやはり人ではないですか？ 信頼関係は患者にとってとても大切」とその方は言っています。病院は「これこそがチーム医療」「医師たちが役割を分担しあっているのだ」と言います。

総合病院の「チーム医療」には患者さんや家族の気持ちは入っていないようです。医師も大学の医局から来て 2 ～ 3 年ほどでほかへ移ってしまう人が多い。多くの医師を確保するのはたいへんだろうと思います。しかし総合病院の「総合力」はこれで育つのか、私は心配です。死が近づいた患者さんに家族がなかなか会えない、という話も聞きます。新型コロナのクラスター対策のためです。しかし、がんなどの末期の患者さんができるだけ家族と会えるようにするのは、大事なことです。患者さんと家族に大きな悲しみと後悔を残さないためにできることはあるはずです。

(12 月議会で質問)

学校図書館

市内小中学校の図書室の本が国の基準より大幅に不足していました。ひだが議会でも取り上げて以来だいぶ改善してきましたが、実は古い本と新しい本の入れ替えは進んでいないのではないかと。なぜなら市内の学校図書館の本の管理は電算システムで行われず、手作業なのです。都内のほとんどの自治体がとくにシステムを導入しているのに 3 千数百万円という予算が出せないでいる青梅市は情けない。子どもの時に会う本は一生に影響を及ぼすと言われます。

ネットの時代ですが、良い本と出合う取り組みはますます大切だと私は思うのです。図書館に青梅産の無垢の木材で大きなテーブルを置き、子どもたちに木の良さを味わってもらいたい、学校にペレットストーブを置き、木を使う暖房を味わってもらいたい、という提案もしたことがあります。お金がないから無理です・・・教育委員会は後ろ向きでした。青梅の魅力を活かせるといいのになあ。

虐待を防ぐためのしくみを

昨年、市内の障がい者施設で入居者が亡くなり、職員が暴行した容疑で逮捕されました。さらに同施設の職員 3 人が虐待や証拠隠滅の疑いで逮捕されました。施設内部でどんなことがおこっているか、なかなか外に知られない。利用者にもまたそこで働く人たちにとっても密室化はとても危険。それを防ぐため、外部の人が施設の利用者から率直な話を聞き取り、問題点を解決していく「第三者委員」という制度があります。

私の提案

1. まず実態調査をする
2. このしくみを市内の障がい者施設すべてで取り入れるよう市が働きかけること

わが市には「障がいのある人も障がいのない人もその人らしく暮らせる共生のまち青梅市条例」があります。市は「取り組んでいく」とのことです。

明星大跡地

競艇から年間 16 億円という収入を見込む青梅市は買取に強気でしたが、私も属する総務企画委員会で多くの問題点が指摘されています。具体的にどう使ったらよいか、も示せないまま広大なキャンパス跡地を買えば、将来必ず財政の負担にあえぐことになるでしょう。

おかしいことは「おかしい」といえる時に